

ガット船による海上養浜工事について

井上建設株式会社
松野 慎司

1. はじめに

本工事は、国土交通省沼津河川国道事務所発注による、富士海岸浸食対策の一環として、養浜材(鳥羽及び宇久須産の粒径10~100mm)を海上よりガット船にて海上投入する工事です。

2. 工事概要

工事名	平成23年度富士海岸吉原地区柏原海上養浜工事
工事場所	沼津市植田地先～富士市東柏原新田地先
工期	平成23年10月 7日～平成24年3月30日
発注者	国土交通省 中部地方整備局 沼津河川国道事務所長 前沸 和秀 沼津河川国道事務所 工務第一課 富士海岸出張所

工事内容

養浜工

養浜(割栗石) 20,000m³

3. 位置図



4. 養浜材海上運搬航路図



5. 使用船舶(ガット船)投入状況



第12新栄丸 499t 容積1,354m³



第26中野丸 499t 容積1,576m³

6. 問題点について

養浜材投入箇所は駿河湾の富士川より東へ約10キロにあり、しらす漁で有名な田子浦漁協による、一艘引きしらす漁及び刺網による定置網漁の盛んな漁場である。

今回の施工時期は12月初旬から2月中旬かけ、1度に約1,000m³の養浜材を鳥羽及び宇久須よりガット船にて20回運搬・投入を行う予定でしたが、施工計画時に発注者及び関係機関と打合せを重ねた結果、今回施工箇所に1月初旬より定置網漁を行いたいとの要望が発生しました。

例年の投入作業の稼働率は天候・海象にもよりますが約50パーセントであった為、定置網漁開始時期の要望に答える為、工程の見直しを行う事になりました。

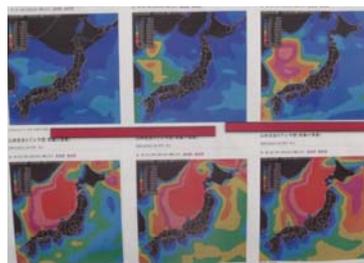
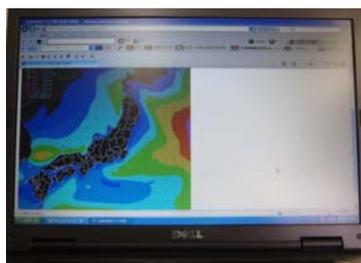
7. 対策について

※施工開始時期及びロス無く施工出来る様検討及び見直しを行った。

①第1回海上投入を12月初旬の予定を11月中旬から行えるよう、発注者・関係機関・割栗石生産工場及びガット船運航会社等と密に連絡調整を行った。

②冬期の海象は西風・南西の風が強く低気圧の影響を受けやすく、天候が良くても作業中止になる為、沿岸波浪予報及び気象情報をインターネットから収集・分析を行いロス無く海上投入を行える様に努めました。

沿岸波浪予報情報サイト: 国際気象海洋㈱提供



以上の①及び②の対策を実施した結果、11月18日より施工開始し、12月22日に全数量海上投入を完了することができました。

8. おわりに

今回の工事は工事受注から施工計画及び施工開始までの時間が少なかったが、過去の施工実績及び前年度施工業者の担当者様からのアドバイスなどにより的確な準備及び工程管理を行い要望された時期までに施工を完了することが出来ました。

今後も敬遠される工事現場でなく、地元住民の方に理解される工事現場を目指して行きたいと思えます。

最後に、工期内に無事故・無災害で竣工を迎えられたのも、工事に協力して頂いた地元住民の方々・田子の浦漁協・発注者関係各位及び工事関係者のご支援とご協力のおかげです。皆様に心より御礼を申し上げます。

養浜材運搬



養浜材投入完了

